

令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

DVと児童虐待の包括的なアセスメントに関する調査研究 報告書

<実施主体名>

株式会社リベルタス・コンサルティング

<調査研究報告書の概要>

令和元年度に実施された「DV対応と児童虐待対応の連携強化に関する調査研究」（以下、「昨年度調査研究」）を先行研究として位置付け、さらに研究を深めることを目的として、下記事項を実施した。

- 昨年度調査研究で作成した、「機関連携のためのアセスメントツール・ガイドライン」について、現場での実効性を高めるためのモデル実施を行い、検証結果を基に内容の更新等を行った。
- 児童相談所、婦人相談所、配偶者暴力相談支援センター等が有機的な連携を行うために必要な情報を収集し、現場の対応力向上に資する内容をまとめた。

調査方法として、下記等を実施した。

- ガイドラインの課題の検討：昨年度調査研究で作成した、「機関連携のためのアセスメントツール・ガイドライン」を現場で活用してもらうための課題について、意見を収集・整理し、修正の方向性等を検討した。その結果、「ガイドライン概要版（案）」を策定するに至った。
- 実証調査（モデル実施）の検討・実施：上記のガイドライン概要版（案）に関し、現場での実効性を高める実証を行うことを目的に、官民の児童虐待対応担当、DV対応担当機関を対象に実証調査を実施し、現場からみたときのガイドライン・概要版（案）の有効性の評価や、加筆・修正事項等について意見を収集した。
- ガイドラインの修正・更新：上記実証調査で得られた意見等を基に、有識者検討会において、ガイドラインの修正・更新の方針・ポイントを検討し、具体的な修正や文案作成を行った。
- 有識者検討会の開催：ガイドラインの課題検討、実証調査の検討・実施、ガイドラインの修正・更新等において、必要な知見等を得るために、有識者検討会を3回開催した。

上記の調査・検討を経て、下記の2種類のガイドラインを制作した。今後、弊社ホームページに掲載する等により、普及促進を図っていく。

- ガイドライン要約版：DV・児童虐待対応の日常業務等の場において、ハンドブックとして活用いただくことを主目的とするバージョン。ガイドラインの要旨を端的に、わかりやすく示すこと等を重視している。
- ガイドライン全体編：研修等の場において、より詳細な情報を得たいときに活用いただくことを主目的とするバージョン。昨年度調査研究で作成した「機関連携のためのアセスメントツール・ガイドライン」をベースに、本調査研究で検討した諸事項を反映させて修正・更新を図ったものである。